



うさぎ組だより 1月

尚徳福祉会 とちょう保育園



新年、あけましておめでとうございます。子どもたちの元気な声と共に、新しい年がスタートしました。保育園でまた、キラキラした子どもたちの表情をみることができて嬉しい気持ちでいっぱいです。クリスマスやお正月…子どもたちにとって楽しいイベント尽くしてでしたね。楽しいお話が聞けるかな～とわくわくしています。うさぎ組での生活も残り3か月となりましたが、1日1日を大切に楽しい思い出を沢山作っていかれたらと思います。



紅葉を子どもたちの感性で…

先月よりさらに季節が進み、落ち葉いっぱいの中央公園に大興奮のうさぎ組のみんな。ふわっとお空に投げて、「落ち葉のシャワー」を浴びたり、落ち葉に埋もれて「落ち葉お風呂」で温まったり…。大きな袋にたくさん詰めてみんなで「よいしょ！よいしょ！」と運ぶのも楽しそうです。まだ紅葉していなかった時期、緑色のもみじを指して、「もう少しで赤くなるのよ」と伝え、ぽかんとしていた子どもたちでしたが、通るたびにみじを見上げ、「まだだね」「まだかなあ」と言うように…。そして「ねえ見て！赤いよ！」と一人が気付くと、みんな「赤いね」「赤い！」と大喜び。去年の猛暑から少しずつ季節が進み、紅葉していく様子を今年はみんなでしっかり観察することができました。もみじの葉を拾って「おててみたい！」「恐竜の足だよ」と言ったり、頭に乘せて「へんしん！」とたぬきさんになりきったり、子どもたちの豊かな感性が大好きです。



お着替え袋のご用意、どうも有難うございました。子どもたちは自分の袋がとても気に入って、ますますお着替えへの意欲も高まっています。畳む楽しさも少しずつ経験しているところです。袋には衣類が畳みきれず入っていることが多いかと思いますが、子どもたちが一生懸命脱いで自分で袋に入れたものです(こちら少しずつ経験中)ので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

1月の目標

- 保育士に見守られながら安心した気持ちで、身の回りのことをひとりで取り組もうとする。

お兄さん、お姉さんになることを少しずつ意識できるような関わりの中で、自ら進んで取り組む気持ちを大切にしていきたいと思います。

- 冬の自然に興味を持ち、見たり触れたりする。

氷、霜柱、白い息など、寒い時期ならではの気付きを大切にしていきたいと思います。

♪今月のうた♪

今月の歌： ゆき・こんこんくしゃんの歌・お正月
季節を感じながらたくさん歌を楽しみたいと思います！



ほくほくしてるよ！

おままごとをしている時、Ｙちゃんが「先生、これほくほくしておいしいよ。食べて」と言いました。「ほくほく？」と聞き返すと「うん、ほくほくしているの」と、にこにこしながらおすすめてくれました。お皿に入っていた黄色いレゴブロックを食べ、「美味しい！ほくほくしているね」と返すと、もっとにこにこ顔になりました。Ｙちゃんはおうちでどんなほくほくしたものを食べたのかしら？ジャガバタかな？さつまいもかな？かぼちゃかな？と楽しい想像がふくらみました。

